

問い合わせ先
海上保安庁人事課
03(3591)9805 内線2502
専門官(表彰担当) 政木

平成22年9月2日
海上保安庁

平成22年防災功労者内閣総理大臣表彰(海上保安関係)について

平成22年9月2日に防災功労者内閣総理大臣表彰の表彰式が行われますのでお知らせいたします。

この表彰は、豪雨、台風、洪水等の災害時における防災活動について顕著な成績を挙げ又は功績があった個人又は団体を顕彰するものです。

海上保安庁関係は海難救助活動等に著しい功労のあった以下の団体が表彰されます。

1. 海上保安庁関係受賞団体

[平成21年第一幸福丸消息不明事案における海難救助活動]
海上保安庁第三管区漁船第一幸福丸消息不明海難対策本部
及び横浜海上保安部巡視船いず潜水土

[平成21年フェリーありあけ船体傾斜海難における海難救助活動]
海上保安庁第四管区フェリーありあけ熊野沖船体傾斜海難対策本部
及び関西空港海上保安航空基地機動救難士

功績概要は別紙のとおり。

2. 表彰式

日時 平成22年9月2日(木)
午前11時15分～
場所 総理大臣官邸大ホール

その他、国土交通省関係受賞団体として、佐賀市消防団中部方面隊第三支団及び諏訪市消防団が受賞しております。

また、本件につきましては、内閣府からも広報されております。

【平成21年第一幸福丸消息不明事案における海難救助活動】

団 体 名
海上保安庁第三管区漁船第一幸福丸消息不明海難対策本部 及び横浜海上保安部巡視船いず潜水土
功 績 概 要
<p>平成21年10月25日、漁を終え、八丈島付近海域から帰港途中だった「第一幸福丸」が消息不明との通報を受け、第三管区海上保安本部では、速やかに対策本部を設置するとともに搜索活動を開始した。台風第20号の接近・通過により搜索活動は困難を極めたが、対策本部の的確な漂流予測技術による搜索海域の絞り込み及び関係機関との緊密な連携に基づく搜索活動の結果、転覆・漂流している同船を発見。巡視船いず潜水土6名が身の危険も顧みず、救助活動を積極果敢に実施し、乗員3名を無事救助した。</p>

【平成21年フェリーありあけ船体傾斜海難における海難救助活動】

団 体 名
海上保安庁第四管区フェリーありあけ熊野沖船体傾斜海難対策本部 及び関西空港海上保安航空基地機動救難士
功 績 概 要
<p>平成21年11月13日、三重県熊野市沖を航行中の「フェリーありあけ」の船体が大きく傾斜し転覆のおそれがある旨の通報を受け、第四管区海上保安本部では、速やかに対策本部を設置するとともに、巡視船艇・航空機を発動させた。海上強風警報が発令される中、ヘリコプター搭乗の機動救難士2名が乗客及び乗組員21名を吊り上げ救助した後、座礁した同船の残りの乗組員7名に対し同機動救難士及び警備救難艇の果敢な救助活動を行った結果、フェリーありあけの乗客及び乗組員28名全員を無事救助した。</p>